

～年頭のご挨拶～



大阪木材工場団地協同組合
理事長 中畑 安伴

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、大阪木材工場団地協同組合の事業運営に対して格別のご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、米国でのトランプ大統領就任にはじまり、英国のEU離脱、そして何よりも世界の主要国で頻発したテロ事件や緊迫した北朝鮮のミサイル発射等、我が国を取り巻く世界情勢はとて先行き不透明であり、難しい局面を迎えていること

を実感させられる一年でした。

一方、国内情勢では、日本を代表する大手企業の不祥事が相次ぎ、日本のものづくりの信頼を失わせかねない事件に、企業の社会的責任やコンプライアンスへの取り組みの重要性を痛感いたしました。

さて、私共の協同組合では、懸案であった老朽化した共同倉庫施設の解体工事を現在進めております。今後は、その周辺用地の整備計画も本格的に取り組むこととし、より工場団地の付加価値向上を目指してまいります。

本年も先のビジョンで示された「働く人の満足度が高い団地」「災害に強い団地」「次世代が輝く団地」として「地域に貢献する団地」という四つの大きな目標の実現に向け、変化が大きく先行きが見通せない状況下ではありますが、「足元」と「将来」を見据え、協同組合とし

て健全な運営をしていく所存でございますので、引き続き協同組合並びに美原団地協議会の運営に変わらぬご理解とご協力をいただくようお願い申し上げます。

結びに代えまして、新しい年が皆様方にとりましてより佳き年でありますよう、心から祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。



開発にかかる補助など、市内中小企業の競争力強化に取り組みまいります。

堺を支えるものづくりを支援し、産業の振興に力を注いでまいりますので、引き続き、組合員の皆様におかれましては、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びにあたり、本年が、皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますとともに、大阪木材工場団地協同組合ならびに組合員企業各位の益々のご繁栄を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



堺市長 竹山 修身

明けましておめでとうございます。

大阪木材工場団地協同組合の皆様におかれましては、新しい年の始まりを健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また旧年中は、堺市政の各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴組合は、昭和37年の設立以来、半世紀もの長きにわたり、木材における加工から流通をはじめとした多種多様な企業が集積した工場団地として、確固たる存在感を發揮し、経済の振興に寄与してこられました。

また、毎年、「みはら区民まつり」にも参加していただき、木製プラン

ターの手づくり教室を開催していたなど、地域の皆さんとのつながりを大切にし、これまでも地域と共存共栄してこられました。

これも中畑理事長をはじめ、組合員の皆様のご努力の賜であると、心から敬意を表する次第でございます。

私は昨年9月の堺市長選挙におきまして、市民の皆様からのご支持を受け、3期目の市政を担うこととなりました。政令指定都市として与えられた権限と財源を最大限に活かす、「子育て」「歴史文化」「ものづくり」の「堺・3つの挑戦」や「安心、元氣なまちづくり」「都市内分権の推進」の実現の取組をより一層加速させ、堺をさらに成長・発展に導いていきたいと考えております。

このうち、「ものづくり」につきましては、今後とも、健康・医療産業などの成長産業ビジネス参入への支援をはじめ、高付加価値の製品・技術の

組合からの発信